

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		国際自然保護区の共同管理に関する包括的研究			
研究テーマ (欧文) AZ		Comprehensive study on the Co-management of Transboundary Protected Areas			
研究氏 代 表 名 者	カナ CC	姓)タナカ	名)トシノリ	研究期間 B	2011～ 2013 年
	漢字 CB	田中	俊徳	報告年度 YR	2013 年
	ローマ字 CZ	TANAKA	TOSHINORI	研究機関名	東京大学
研究代表者 CD 所属機関・職名		東京大学大学院新領域創成科学研究科・特任助教			
<p>概要 EA (600字～800字程度にまとめてください。)</p> <p>生態系の効果的な保全や環境和平の観点から関心が高まっている国際自然保護区(Transboundary Protected Areas)の共同管理に焦点を当て、その定義、歴史、事例に関する先行研究をレビューし、また、ドイツ、オランダ、デンマークが3か国で共同管理を行っているワッデン海(Wadden Sea)共同管理事務所及びIUCN本部(スイス・グラン市)を訪問し、関係者にヒアリング調査を行った。</p> <p>IUCNの報告書であるSandwith et al(2001, p3)は、TBPAを以下のように定義している。</p> <p>「生物多様性及び自然資源や関連した文化資源の保護を目的として、法的に、もしくは、他の効果的手法により共同で管理され、複数の国家、州や区といった地方公共団体、自治区、または、国家主権や管轄権の及ばない地域にまたがる陸域、または海域」</p> <p>本定義によれば、TBPAは国家間にまたがる自然保護区に限定されず、州や省、都道府県、自治区など国内レベルの保護区や南極や公海のように国家主権や管轄権の及ばない地域にまたがる保護区も含むことが分かる(TBPAも直訳すれば、「越境保護区」である。ただし、これまでの先行研究及び本研究の意図も現段階では、国家間にまたがる国際自然保護区であるため、分かりやすさを優先し、TBPAのことを「国際自然保護区」として、研究を進めた)。</p> <p>TBPAの歴史は1932年にアメリカとカナダが両国の友好親善を目的に設置した、ウォータートン・グレーシャー国際平和公園(Waterton-Glacier International Peace Park)が代表的であるように、友好国間における設置が一般的であった。一方、エクアドルとペルーが領土を争っていた「コンドル山脈」のように、当該地域をTBPAとすることで停戦合意をした環境和平の事例も存在する。本事例は国際的に大きな影響を及ぼし、Ali(2007)をはじめ、国際政治学の観点から、TBPAを扱った文献が存在する。具体的には、インドとパキスタン両国の間で領土紛争の生じているシアチェン氷河(Siachen Glacier)や日本とロシアが争う北方領土、韓国と北朝鮮国境のDMZ(非武装地帯)などが、国際和平に貢献しうるTBPAとして紹介されている。</p> <p>一方、IUCNへのヒアリング調査からは、TBPA設置による環境和平が現実には極めて困難であり、Ali(2007)に紹介されている事例のいずれも、現在では手詰まりの状態になっていることが判明した。ワッデン海は、3国が予算を均等に分担し、統合的な事務局を有する唯一のTBPAの事例であるが、これは言語や文化、政治体制といった点について障壁が少なく、いずれの国家も自然保護や環境保護に熱心であることから成功した事例であることが分かった。翻って、言語や文化、政治体制の不一致、経済的要因によって、TBPAの設置が阻害されたり、設置されたとしても、保安全管理が困難である事例が多いことが分かった。</p> <p>TBPAの共同管理に関する研究をさらに推進するためには、法や制度、組織、科学的知見、参加機会、情報、利害関係者といった指標を用いてガバナンスの観点からより綿密な調査が求められる。</p> <p>参考文献 Ali, S. H. eds. (2007) <i>Peace Parks: Conservation and Conflict resolution</i>, the MIT Press. Sandwith, Trevor et al. (2001) <i>Transboundary Protected Areas for Peace and Co-operation</i>, IUCN.</p>					
キーワード FA	国際自然保護区	環境和平	ワッデン海	IUCN	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 ^{GB}	国際自然保護区の共同管理に関する基礎的研究							
	著者名 ^{GA}	田中俊徳	雑誌名 ^{GC}	日本環境学会第38回研究発表会要旨集					
	ページ ^{GF}	222~225	発行年 ^{GE}	2	0	1	2	巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	~	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	~	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	

欧文概要 EZ

The cooperation through the establishment and the management of Transboundary Protected Areas (TBPA) has drawn the increasing attention in the contexts of ecosystem conservation and environmental peacemaking. This research reviewed the previous TBPA studies in various academic fields and had interview surveys to two important secretariats concerning the TBPA management; the Common Wadden Sea Secretariat (CWSS) in Germany and IUCN Headquarter in Switzerland.

The CWSS is the integrated authority which is in charge of the conservation and the cooperation of the Wadden Sea equally funded by Germany, Netherlands and Denmark. According to the interview survey, the cooperation is based on the “Joint Declaration on the Protection of the Wadden Sea” firstly signed in 1982 and updated in 2010. These three countries had less difficulty for the cooperation from perspectives of language, culture and political systems and particularly notable that these countries are highly dedicated to the nature conservation and environmental protection. On the other hand, language, culture and political systems are huge barriers for establishment of TBPAs.

IUCN Headquarter is one of the biggest inter-governmental nature conservation organizations and has promoted the international cooperation through establishment and the management of TBPAs especially in 1990s to 2000s. From the interview survey to IUCN experts, settling the land dispute by establishing the TBPA is practically difficult and many case studies shown in Ali (2007) are facing gridlocks mainly due to the political difficulties.

For enhancing the research on the co-management of the TBPAs, it is indispensable to focus on several criteria such as laws, institutions, organizations, stakeholders, scientific knowledge, participation frameworks and information sharing schemes.

Reference

Ali, S. H. eds. (2007) *Peace Parks: Conservation and Conflict resolution*, the MIT Press.